

備陽史探訪

第 242 号

発行
備陽史探訪の会

備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした
地域の歴史を研究し、
愛郷の精神を涵養する。
(会則第 1 章第 2 条より)

追悼山口哲晶氏

会長 田口義之



若き日の山口氏、右は田口会長

5月7日、本会の名誉会員であり、長きにわたって古墳部会長（現古代史部会）・副会長として本会の活動をリードしてこられた山口哲晶氏が逝った。71歳（享年73）であった。ここ数年役員会や総会にも姿を見

せず、気になってはいたのだが、氏は時に「ものぐさ」になることがあり、何時もの「あれ」だろうと思つて気にも留めなかったのだが、昨年9月、突然私に電話があり、「実は重度の肺ガンで治療中」であるとの告白があった。肺ガンがわかったのは春先のことで、ステージ4で余命3ヶ月を告げられたと言う。電話があったのがその半年後だから、彼としては「生き延びた」ことを知らせたかったようだ。実際、体の調子が回復したら、会の活動に復帰したいと言っていた。

その後、異変が起きたのは、今年の正月過ぎであった。会報239号が「宛先人不明」で帰ってきたのである。私は少し不安な気持ちになり、田中事務局長に自宅の方を見てもらうと、「人は住んでないような」様子だと言う。

いやな予感が頭をよぎったが、ほおっておくことは出来ない。会の草創期からの仲間であり、友人だからである。

2月1日、意を決して彼の携帯に電話をかけた。すると、意外にも本人が出て、健在であることがわかった。電話の要件（会報が宛先不明で帰ってきたこと）を告げると、「ああ、実は息子が家を新築し、同居していること」を明るい声で話してくれた。いやな予感に捉われていた私はすっかり安心して、四方山話をした後、電話を切った。これが、彼の最後の会話となった。

その後、5月14日（水曜日）の夜、ご令室から電話があり、彼が黄泉の国に旅立ったことを知ったのである。

今となつては正確な日時は忘れてしまったが、山口哲晶氏が備陽史探訪の会に入り、我々の仲間になったのは、多分、1982（昭和57）年のことであつたと思う。そのきっかけは今でもよく覚えている。

1980（昭和55）年九月に発足した我会の最初の目的は、メンバーを増やすことであつた。積極的な新聞や雑誌に投稿して、会の活動

目次

追悼山口哲晶氏	…（会長 田口義之）	1
調査報告		
中世石造物の調査報告	…（篠原芳秀）	2
研究レポート		
福山城総構 籠城の備え		
―内能満池の意味―	…（瀬良泰三）	4
活動報告		
移設復元された田上第二号古墳の横穴式石室の修復	…（篠原芳秀）	6
ワンショットレポート		
史料紹介		
井上家文書（11）		7
御樋方御郡方村方普請場所ヶ所附帳		4
史料紹介		
上岩成村・木下家文書について		8
田口義之の備後の古墳30選	…（碓井直輝）	10
最古の古墳 大迫山第1号古墳		12
ワンショットレポート		
備陽史探訪の会NEWS		13
ワンショットレポート		14
事務局日誌		15

現在の会員数 207名



会員数は6月の
上旬現在の
数字です。
その後、増
減があるか
も知れません。
（いっちゃん）

紀要『備陽史研究』の原稿募集

『備陽史研究』は、備陽史探訪の会紀要です。会員の皆様が個々に調査・研究をした成果を発表する場でもありますし、後世伝えたい郷土の歴史を残す場でもあります。

国立国会図書館や広島県立文書館をはじめ、市内図書館にも寄贈しており、広く一般の研究者や歴史に興味のある地元の人の目に触れる機会も多くなります。

地道に積み重ねてきた日々の研究も、多くの方々の目に触れることができるようになって初めて意義のあるものになりますし、それを元に多くの人が議論することで、郷土史研究は更に深まります。

原稿は、随時募集しています。郷土史発展のために奮ってご応募ください。

【応募方法】

事務局宛て郵送かメール

info@bingo-history.net

〒720-0824

広島県福山市多治米町 5-19-7

備陽史探訪の会 事務局

事務局日誌

- ◇ 4月5日(土) 茨城調査に向けた整備 参加13名
- ◇ 4月6日(日) 中世城館測量調査 参加2名
- ◇ 4月12日(土) 「近世福山の歴史を学ぶ」 参加22名
- ◇ 4月16日(水) 古文書解説会 参加5名
- ◇ 4月19日(土) 「中世を読む」 延期
- ◇ 4月25日(金) 古文書入門講座 参加9名
- ◇ 4月26日(土) 中世石造物調査 参加5名
- ◇ 4月26日(土) 「大人の博物館教室」 参加22名
- ◇ 5月5日(月・祝) 「帰ってきた! 親と子の古墳巡り」 参加18名
- ◇ 5月10日(土) 「近世福山の歴史を学ぶ」 参加16名
- ◇ 5月10日(土) 特別企画「田上第2号古墳の移設された横穴式石室の修復」 参加16名
- ◇ 5月11日(日) 中世城館測量調査 参加2名
- ◇ 5月17日(土) 「中世を読む」 延期
- ◇ 5月21日(水) 古文書解説会 参加5名
- ◇ 5月24日(土)・25日(日) 一泊旅行「水野勝成の足跡と世界遺産百舌古市古墳群」 参加20名
- ◇ 5月31日(土) 中世石造物調査 参加4名
- ◇ 5月30日(金) 古文書入門講座 参加9名

会報「備陽史探訪」の原稿募集

会報「備陽史探訪」243号の原稿を募集中。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・イラスト・写真・俳句・随筆・昔語りなどなど会員の皆様の投稿をお待ちしております。

昭和の頃の何気ない日常の思い出話も、今では立派な歴史の証言。日本中どこを探してもないココだけの歴史情報お待ちしております!

原稿は事務局編集部まで。規定は16文字×120行以内。写真に一行コメントや100文字以内のコメントでもOK。なお、原稿は返却しませんので、必要な方は複製をお願いいたします。また、内容によって、研究レポートや郷土史探訪あるいは読者ノートなど、項目の判断させていただきますので、ご了承くださいますようお願いいたします。



備陽史探訪の会 事務局

公式サイト <http://bingo-history.net/>
事務局メール info@bingo-history.net

びんご歴史クイズ59

備後国衆山内首藤氏に関する質問編

- ① 備後山内氏の祖、山内首藤経俊は石橋山の合戦で平家に味方し、危うく斬首されそうになりましたが、彼を救ったのは誰でしょうか?
A 北条泰時 B 比企の尼
C 摩々局 D 土肥実平
- ② 鎌倉時代末期、山内通資は地毘庄の実質的な支配権を獲得しましたが、それはどのような方法で得たものでしょうか?
A 買得 B 下地中分
C 地頭請 D 押領(侵略)
- ③ 応仁の乱を勝ち抜き山内氏を備後有数の国衆に成長させたのは次の内、誰でしょうか?
A 山内泰通 B 山内豊成
C 山内直通 D 山内通続
- ④ 山内直通は、天文5年尼子氏の圧力により、城主の座を「婿法師(後の山内隆通)」に譲りましたが、婿法師の実父として正しいのは次の内誰でしょうか?
A 山内直通 B 山内豊通
C 多賀山通続 D 尼子興久